

— 揺るぎ無き至高のカルテット —

# ジュリアード 弦楽四重奏団

JUILLIARD  
STRING  
QUARTET



©Rachel Papo

## PROGRAM

**ブラームス**：弦楽四重奏曲 第2番 イ短調  
Johannes Brahms : String Quartet No. 2 in A minor, op. 51-2

**バルトーク**：弦楽四重奏曲 第4番  
Bela Bartok : String Quartet No. 4, Sz. 91

**ラヴェル**：弦楽四重奏曲 へ長調  
Maurice Ravel : String Quartet in F major

## 本公演出演者

ヴァイオリン：アレタ・ズラ  
Areta Zhulla, violin

ヴァイオリン：レオナルド・フー  
Leonard Fu, violin

ヴィオラ：ニコラス・ガリターノ  
Nicholas Gallirano, viola

チェロ：アストリッド・シュウィーン  
Astrid Schween, cello

※メンバーのヴァイオラ奏者モーリー・カーは、事情により来日を控えることとなりました。代わりまして、本公演では、ニコラス・ガリターノが出演いたします。あらかじめご了承ください。

2026. **10/29** 木 7:00PM開演 (6:30PM開場)  
A¥5,500 B¥4,500 (税込/全席指定)

**兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール**  
〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ/ JR西宮駅より徒歩15分 (阪急バス7分)

一般発売

**6/21**  
日

芸術文化センター  
チケットオフィス

インターネット予約

※窓口での販売(残席がある場合)は6/23(火)より

☎0798-68-0255

(10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日)

<https://www.gcenter-hyogo.jp>

芸術文化センター会員  
先行予約受付開始

**6/19** 金

※未就学児童はご入場いただけません。  
※やむを得ない事情により、出演者、曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。



兵庫県立  
芸術文化センター



主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

名門ジュリアード音楽院の教授たちにより、1946年創設。80年の長きわたり活動を続けるジュリアード弦楽四重奏団。これまで積み重ねてきたものと新しいものを融合させ、確固たる“ジュリアード・スタイル”を築いてきました。古典から近現代の作品までそのレパートリーは多岐にわたり、その精緻なアンサンブルと音楽解釈により、常に頂点を極めていきます。

今回のプログラムでは、このアンサンブルの表現力と音色を堪能できる傑作が揃いました。弦楽四重奏曲第2番は、ブラームスの弦楽四重奏曲の中でも抒情性に満ちた美しい作品。続いてバルトークの弦楽四重奏曲第4番はジュリアード弦楽四重奏団の秀逸な名盤でも知られた技巧的な難曲。最後のラヴェルの作品は、恩師フォーレに献呈された色彩豊かな心奪われる弦楽四重奏曲。ラヴェルの作曲家としての地位を確立した名作です。世界最高峰の上質なアンサンブルをお楽しみください。



# ジュリアード弦楽四重奏団

## JUILLIARD STRING QUARTET

ヴァイオリン:アレタ・ズラ / ヴァイオリン:レオナルド・フー / ヴィオラ:モーリー・カー ※ / チェロ:アストリッド・シュウィーン  
Areta Zhulla, violin / Leonard Fu, violin / Molly Carr, viola / Astrid Schween, cello

比類なき芸術性と不朽の活力で、ジュリアード弦楽四重奏団は世界中の観衆を魅了し続けている。1946年に創設、米紙ボストン・グローブで「我が国の弦楽四重奏団史上、最も重要な存在」と評された同団は、古典作品にたゆまぬ探究心を傾けると同時に、新しい作品にも積極的に果敢に取り組み、伝統を守りつつ大胆な挑戦をするという姿勢を貫いている。彼らが目指すのは常に唯一無二の音楽。それは4人に共通する、作品に対する深い洞察と全身全霊の傾注、そして弦楽四重奏という芸術に潜む驚嘆を分かち合いたいという飽くなき好奇心の結実である。

多数の名盤を誇るその名高いディスコグラフィーに加え、2021年にはソニー・クラシカルからベートーヴェン、バルトーク、ドヴォルザークを収録したアルバムがリリースされ、高い評価を得た。さらに、ソニー・マスターワークスから2021年に創立75周年を記念したCD16枚によるセットBOX“The Early Juilliard Recordings”がリリースされた。バルトーク、シェーンベルク、ドビュッシー、ラヴェル、ベートーヴェンの弦楽四重奏曲はグラミー賞を受賞し、2011年、全米レコード芸術科学アカデミーからクラシック音楽のアンサンブルとして初めて生涯功労賞を授与されている。

各メンバーは教師としても優れており、ツアー中もマスタークラスや公開リハーサルを実施している。レジデンスであるジュリアード音楽院では弦楽および室内楽の教授を務めており、受講を希望する者が後を絶たない。毎年5月に開催している5日間に及ぶセミナーは国際的にも注目を集めている。また夏には、タンゲルウッド音楽祭では学生たちとともに弦楽四重奏のための集中講座を行っている。2025年9月、28年間にわたる第2ヴァイオリンのロナルド・コープスが勇退。新たに、レオナルド・フーが加入した。2025-26シーズンは、アメリカ国内に加え、ベルリン、ウィーン、ルガーノ、ポローニャ、アテネ、ライブツィヒ、広州、武漢、天津で公演を行う。日本へも頻りにツアーで訪れており、前回2023年は兵庫県立芸術文化センターに再登場し、東京・紀尾井ホール公演はNHK-BSクラシック倶楽部にて全国放送された。

<https://www.gcenter-hyogo.jp>  
兵庫県立芸術文化センター  
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員へのご登録はこちら



### 便利なアクセス!!

大阪・梅田からも神戸・三宮からも  
ホールまで15分  
(阪急電車特急乗車の場合)

◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

### アクセス



確固たる“ジュリアード・スタイル”  
世界最高峰のカルテット

### 本公演出演者

ヴァイオリン:アレタ・ズラ

Areta Zhulla, violin

ヴァイオリン:レオナルド・フー

Leonard Fu, violin

ヴィオラ:ニコラス・ガリターノ

Nicholas Gallitano, viola

チェロ:アストリッド・シュウィーン

Astrid Schween, cello

※メンバーのヴィオラ奏者モーリー・カーは、事情により来日を控えることとなりました。代わりまして、本公演では、ジュリアード弦楽四重奏団の歴代の3人のヴィオラ奏者である、サミュエル・ローズ、ロジャー・タッピング、モーリー・カーに薫陶を受けた、ニコラス・ガリターノが出演いたします。あらかじめご了承ください。